

# JIS

## 繊維用語（織物部門）

JIS L 0206 : 1999

(2004 確認)

平成 11 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第14条において準用する同法第12条第1項の規定に基づき、財団法人綿スフ織物検査協会から工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきと申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS L 0206 : 1976は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正では、国際規格に一致した日本工業規格の作成のために、序文に示す国際規格を基礎として用いたが、従来からJISで規定していた用語を加えている。

---

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 36.3.1 改正：平成 11.3.20

官 報 公 示：平成 11.3.23

原案作成協力者：財団法人綿スフ織物検査協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 消費生活部会（部会長 小見山 二郎）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部標準業務課 環境生活標準化推進室（☎ 100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 繊維用語（織物部門）

L 0206 : 1999

## Glossary of terms used in textile industry (woven fabrics)

**序文** この規格は、1976年に発行されたISO 3572, Textiles — Weaves — Definition of general terms and basic weaves を元に、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、従来からJISで規定していた用語を加えている。

なお、この規格で点線の下線を施してある“参考”は原国際規格にはない事項である。

1. **適用範囲** この規格は、織物の一般用語及び組織について規定する。
2. **分類** 繊維用語（織物部門）は、次の4分類とする。これらの分類を含む4けたの番号を用語の見出し番号とする。
  - a) 一般用語（織物製造）
  - b) 三原組織
  - c) 織物の名称
  - d) 織物組織（三原組織を除く。）
3. **番号、用語、読み方、定義及び対応英語** 番号、用語、読み方、定義及び対応英語は、次のとおりとする。

## 3.1 一般用語

番号	用語	読み方	定義	対応英語（参考）
1001	意匠紙	いしょうし	組織、意匠の図示に通ずるようになて、よこ方向に一定間隔をおいて線を引いた紙。 <b>備考</b> ：通常たて線の空間がたて糸1本を表す。 <b>参考</b> ：意匠紙は細かい等間隔の線を引いてあるが、適宜なサイズの区画ごとに太い線も引いてある。	design paper
1002	インターレース		たて糸とよこ糸が互いに上下に交錯すること。 <b>参考</b> ：組織すること。	interlacing
1003	浮き	うき	隣接した組織点の間の糸の長さ。 <b>備考</b> ：浮きの長さはよこ糸を飛び越しているたて糸の数、又はたて糸を飛び越しているよこ糸の数で表す。	float
1004	織方図	おりかたず	ある柄を織るために連続してよこ入れを行えるように、そうこうを上下させる順序を示すもの。	lifting plan
1005	織物	おりもの	たて糸とよこ糸を（織機によって）通常は互いに直角に交錯させてできた布。	woven fabric
1006	完全組織	かんぜんそしき	織物組織のパターンに必要な最小限のたて糸とよこ糸の本数。 <b>参考</b> ：織物組織の単位。	weave repeat